

平成18年度 大規模津波防災総合訓練の概要

1. 訓練の概要

平成16年12月のスマトラ島沖大地震に伴うインド洋津波災害を踏まえ、今世紀前半にも高い確率で発生すると言われていた東南海・南海地震による津波を想定した大規模津波防災総合訓練を行います。住民の避難訓練、地震津波情報の収集・伝達訓練、漂流者の救助・救急訓練、緊急物資の輸送訓練等を沿岸地域住民と防災関係団体・関係機関が連携して行います。

○日 時

平成18年7月30日（日） 9時～12時

○場 所

徳島県小松島市徳島小松島港（赤石地区）を中心に四国各地において実施

○主 催

国土交通省

○協 賛

内閣府

○後 援

(財)国土技術研究センター、(財)河川情報センター、(社)日本河川協会、(社)全国海岸協会、(社)全国防災協会、全国水防管理団体連合会、(財)沿岸技術研究センター、(社)日本港湾協会、(財)港湾空港建設技術サービスセンター、(財)海上保安協会、(社)日本水難救済会、(財)気象業務支援センター、(財)日本気象協会、(社)日本測量協会、(社)四国建設弘済会、四国トラック協会連合会、(社)徳島県トラック協会（順不同）

○参加機関

四国地方整備局、四国総合通信局、四国厚生支局、中国四国農政局、四国経済産業局、四国運輸局、大阪航空局、四国森林管理局、大阪管区气象台、高松地方气象台、徳島地方气象台、第五管区海上保安本部、第六管区海上保安本部、中国四国産業保安監督部四国支部、四国地方測量部、四国管区警察局長、徳島県警察本部、小松島警察署、香川県警察本部、陸上自衛隊・第14旅団、第15普通科連隊、中部方面通信群、中部方面航空隊、海上自衛隊・徳島教育航空群、小松島航空隊、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、小松島市等、小松島市消防本部、四国電力(株)、NTT西日本(株)徳島支店、(株)NTTネオメイト四国、(株)NTTファシリティーズ関西徳島支店、(株)NTTドコモ四国、四国旅客鉄道(株)、西日本高速道路(株)四国支社、(社)徳島県トラック協会、(社)JAF徳島支部、(社)日本土木工業会四国支部、(社)日本道路建設業協会四国支部、(社)徳島県建設業協会、(社)日本埋立浚渫協会四国支部、四国港湾空港建設協会連合会、(社)日本海上起重技術協会四国支部、徳島県排出油防除協議会、日本赤十字社徳島県支部、徳島県医師会、徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、高知工科大学等

(順不同)

2. 訓練で想定する地震・津波の規模

- ・南海トラフでのプレート境界型地震の発生（東南海・南海地震）
 - 9：00 地震発生
 - 9：02 震度速報発表
 - 9：05 津波警報発表
 - 9：45 津波警報解除
- ・マグニチュード 8.6
- ・震度 徳島、高知、愛媛で震度6強 香川で震度6弱
- ・津波高 徳島県から高知県にかけて10m以上
- ・第一波到達時間 小松島40分、須崎港25分、室津港10分

3. 訓練の特徴など

1) 情報集約拠点における訓練

- ・今回新たに、国の地方出先機関や四国4県の防災担当者が一堂に会して、情報の収集や収集した情報の共有化を図る訓練を実施します。
- ・小松島市の訓練会場に、四国地方整備局の災害対策室をイメージした会場を設置し、そこに各機関が連絡員（リエゾン）を派遣しているという設定で図上演習を予定しています。
- ・情報集約拠点には数台のディスプレイを設置し、四国各地で発生している被災情報を様々な通信ツールを使って収集し、情報集約拠点において情報を整理します。
- ・この訓練は、地震発生後の9時10分頃から30分程度実施します。

2) 小松島市における津波避難訓練

- ・小松島市は今回の大規模津波防災総合訓練に併せて、住民の避難訓練を9時から実施します
- ・今回避難訓練に参加する地区は「和田島地区」と「北小松島地区」です。それぞれ指定された避難場所である「春日神社」及び「市営球場」に、地震発生と同時に住民が避難してきます。

3) 訓練参加者は約2,000人、現地見学者は約3,000名程度

- ・訓練の参加者は小松島市のメイン会場の他、サテライト会場（徳島吉野川地区、愛媛南予地区、高知高知港地区及び高知西バイパス地区）併せて約2,000人が参加します。
- ・避難訓練に参加した地元住民や地元の小学生ら約2,500名の他、招待者300人を含み約3,000人の見学者の予定している。
- ・これ以外に、三重、和歌山、高知、徳島各県において情報伝達訓練、住民の津波避難訓練へ約19,000人が参加します。

4) 訓練の解説

- ・徳島大学の村上仁士教授による訓練の解説等をお願いしています。